

<b>交渉情報</b>	<b>NO.11</b>	日本郵便(株)信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2017年8月24日	添付資料:4枚

## 新潟郵便局の業務運行確保に向けた取組等について

日本郵便(株)信越支社郵便・物流オペレーション部は、本日（8月24日）「新潟郵便局の業務運行確保に向けた取組等について」について地方本部に説明してきました。

標記概要については、新潟局の正常な業務運行で正常結束を確保するものです。詳細につきましては、支社資料を参照してください。

地本では以下のとおり支社と意見交換をしました。

1、日附印の押印協力については、現在の状況が落ち着くまでの間としていましたが、遅くとも2018年1月を目途に新潟局で押印集中を実施できるよう取り組んでいるとしています。

引き続き押印協力を継続するとともに、大型郵便物（薄物・厚物）、小型郵便物（手押印が必要な厚物等の郵便物・機械押印が可能な薄物の郵便物）の押印協力郵便物の拡大が可能か検討し、実施可能な場合は拡大に取り組むよう協力依頼するとしています。この件に関しては、一般局において強制的な要請は行わず、各局の実情に合った対応を行う事としました。

2、差立て郵便部等の区分方法については、支社資料のとおりとなりますが、一般局での差立て時において、パレットケースが増えることから、業務に支障が出ない様十分な数を確保する事としました。

3、計画配送郵便物の取扱い（新潟局引受の大口差出郵便物）については、支社資料別紙1において新潟局から一般局へメールでの情報を提供するとしています。メールだけではなく、確実に配達局に情報が伝わるように併せて電話での情報提供も行うことを確認しました。

4、計画配送郵便物の取扱い（一般局引受の大口差出郵便物）については、支社資料別紙2を落し紙として新潟局へ送付します。

特に、計画配送のパターン3については、新潟局において単独で1パス、2パスを実施することになるため、新潟局での要員及び区分機稼働時間が確保されているか

を新潟局と該当局で十分確認したうえで新潟局に送付することを確認しました。

地方本部では、今後とも新潟局および一般局の業務運行を注視するとともに、問題があった場合は現地と連携を図り、対応していくことします。

【労使対応】 単局窓口